

様式 1

令和2年度富谷市立日吉台小学校 学校関係者評価書

令和3年 2月15日

学校関係者評価委員会

氏名

印

氏名

印

氏名

印

1 総評

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

○「支持的風土を持った学級集団をつくり、協同的な学びを推進する」

- ・コロナ禍において、今年度の始まりが6月にずれ込みかつ密を避けるなど感染予防の点からも、共同的な学びの場としての学級集団作りは大変困難だったと思います。しかし前期の授業風景ではタブレットや電子黒板をうまく活用し、児童一人一人の意見や感性を大切にしながら、授業を精力的にまとめ上げていく先生方の姿勢に大変感心しました。これまで継続して取り組んでいただいていた子どもたち同士の学び合い学習が、感染予防の点からできなくなってしまうのでは、との危惧の念もありましたが、年度末には少人数のグループではありますが、互いに話し合ったり教え合ったりする姿が見られて、大変安心しました。感染症対策が何より求められ、健康チェック、感染予防教育、学校内の消毒作業など大きな負担の中、先生方には感謝の言葉しかありません。
- ・今年度はコロナの影響により、学校が6月より再開という異例のスタートとなりました。夏休みの短縮や学校行事などの中止という中で計画通り実施できず大変な一年だったと思います。職員の意識は年々高まっており組織全体で前向きに取り組んでいる姿勢が感じられました。授業の中で、お互いを尊敬し合い学び合っていく子どもたちの姿に感心しました。認め合うことができるようになったことはすばらしいです。クラスの雰囲気もよく元氣な挨拶もでき心の教育の充実もみられます。
- ・知識や学びへの意欲、お互いを認め合い思いやりの心を養うことを目指して子どもたちが主体的に行動し、論理的思考力を育てる教育がなされていました。各学級単位で分かりやすい工夫を凝らした授業の実践で熱意が感じられ、先生方の意識の高さを感じました。

(2) 成果について

- ・昨年度末の緊急事態宣言や休校を経て、子どもたちを取り巻く環境が大きく変わり、何もかもが不安に思える中での学校生活のスタートだったかと思います。このような状況でも校長先生はじめ諸先生方には、子どもたちが本来学校で学ぶべきこと、学習面だけではなく、個々の心の成長や仲間同士の認め合いや育み合いなど、しっかりと地道に継続していただきました。いじめのアンケートも定期的実施していただき、不安なことにはすぐにご対応いただいております。日吉台小学校には、いつも子どもたちのあふれる笑顔、そして何事にも一生懸命取り組もうとする姿が見られております。そしてこれまで当たり前だった学校生活が、子どもだけでなく、保護者にとってもかけがえのない場所であるということを実感された方も多かったと思います。休校における学習面の遅れなどが心配でしたが、学校行事が止む無く中止となった分、授業時間が増え、学習内容の積み残しはないとのことでした。

当たり前のことのようにお話しいただきましたが、休校中より家庭における学習の取り組みもしっかりサポートしていただいております、それが現在も習慣化しているとの話を保護者より聞いております。

- ・授業参観の様子を見て、人の話を熱心に聞ける子、相手に対して感謝の気持ちを持てる子が増えていることが感じられます。取り組む姿勢も意欲的になり、お互いを尊敬し合えることができるようになったと思います。子どもたちと日々向き合い、ご指導いただいている職員の皆様の努力が成果として確実に結び付いて表れたと感じられます。子どもたちは大きく成長したと思います。
- ・分かる授業で問題解決的な進め方で、学び合いのある充実した授業プランで成果があったと思います。子ども同士が思いやりや感謝の気持ちでお互いに共有し、仲の良さが目に付き、お互いを尊重し合う姿が授業からも受け取ることができ、心を育む教育の成果を感じます。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ・次年度の教育計画は例年通りに計画されているとお聞きしましたが、行事のあり方など大きく教育活動が変わってくることもあるかと思っております。運動会や学芸会、校外学習などコロナ禍での規模縮小ではあったかと思いますが、以前より子どもたちや先生方の負担になっているのでは、との考え方のあり、この機会に様々な面からご検討いただき、精査していただくのも良いと考えています。SNSやオンラインゲームなど顔の見えないやり取りが普及しており、それがいじめ等につながらないよう見守りや家庭を巻き込んだ対応をお願いします。
- ・一人一人への細かな指導は手の届かない部分もあります。保護者の理解がないと解決は難しいと思いますが、教職員と現状を共有していくことで指導方法も導き出されると思います。地域との関わりは、今後も触れ合う場を大切にしたいと思っておりますので内容を見通していただき、できることをぜひ継続させてください。
- ・「一人一人に応じたきめ細やかな指導」を保護者から要望が強くありましたが、保護者があまりにも学校に頼り過ぎている点も問題で、自分の子どもの能力を見極めて家庭内での指導も大切ではないでしょうか。自分の子どもの変化に保護者も早く気付いて学校へ相談することも、いじめや不登校防止につながるのではないのでしょうか。

2 各領域等の評価

○ 評価は、A：十分に達成している B：概ね達成している C：どちらかといえば達成していない D：ほとんど達成していない の4段階でお付けください。

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において学校への出入りの制限や地域との連携事業が中止となった面がありますが、ホームページや町内会の回覧で学校便りを見ることができ、学校の取り組みがよく分かりました。全クラスの授業も参観させていただき、生き生きと学ぶ姿も拝見しました。 ・学校だよりから熱心な取り組みが伝わってきます。教育目標や教育活動への取り組みが分かりやすく記載されており理解しやすい。 ・学校行事も町内会で周知され、関心度も高く皆さん楽しみにされています。
	2 魅力ある学校	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標に対して個々の教師ではなく学校全体として取り組んでおり、教師間での話し合いや相互評価はもちろん、保護者アンケートの結果もしっかり分析し、常に課題意識をもって取り組まれているのがよく分かります。 ・子どもたちが学ぶことの楽しさを知り「できる」「分かる」の喜びを感じることができ学校。教職員が一丸となり教育実践を行っていることが素晴らしいです。 ・教職員全員で思いやりをもって、素直な子どもを育てる意識が高く、子どもたちへの強い思いを感じられました。みんなで、より良い学校に作り上げて行こうという思いが全体から伝わってきます。
	3 施設・設備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全教室のエアコン設置により今年度の猛暑や夏休み短縮下の授業も安心することができました。またタブレットの普及、自動手洗い場の設置など状況の変化に対する素早い対応に感謝いたします。 ・機器の導入もあり、子どもたちが学びやすい環境に整っていると思います。パソコン操作も向上したと感じました。 ・コロナ禍で感染予防対策がしっかりして安心して勉強できる体制が整っています。

	4 安全管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に対する基本的な考え方や対応など危機管理マニュアルにもまとめられており、しっかり対応いただいています。学校防災と合わせて、家庭や地域を巻き込んだ対応を引き続きお願いします。 ・地域と協力して子どもたちが安全に登下校できるよう、これからも見守ってほしいです。災害時における臨機応変な対応が必要で、避難訓練の内容を見直し、より一層の強化体制に努力してほしいです。 ・通学路は交通量が多く、安全確保のために地域ぐるみで見守っているが、より安全な方法が必要となってきています。どうしてもふざけながら通学する子どもを見掛けるので、周囲の方も声掛けして注意を促していただきたいです。
	5 教職員の資質の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修は難しかったかと思いますが、校内での研究や研修などの充実を図っていただいております。1人1授業公開や学年及び学級での先生同士の振り返りはすばらしい取り組みだと感じています。 ・指導力のアップ、人間向上に努めてください。現場で成果が発揮されることを願っています。 ・授業参観をして、子どもたちへの投げ掛けや積極的な声掛けで、やる気を引き出せる指導は良いと思います。教員の授業への取り組みが、前向きで良いと思います。
	6 特色ある教育活動等 (ICT関連)	A	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの導入によりコロナ禍でも学び合い学習が推進されており、電子黒板と合わせて展開される授業に、時代の変化を感じると共に子どもたちの未来像まで想像してしまいました。準備も含めて対応される先生方は大変かと思いますが、今後も力を入れていただきたいと思います。 ・少人数指導による算数学習や調べる学習について推進されています。積極的に活用して教育効果をあげてってください。 ・地域のサポーターの皆さんが積極的に活動し、子どもたちへ潤いを与えてとても良いと思います。

教育課程	1 確かな学力	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休校による学習の遅れもなく、コロナによる活動や行事の見直しで、落ち着いて学習に取り組めたとお聞きしています。学級集団における学び合いの継続的な取り組みにより自主的に学ぼうとする力が身に付いており、学力向上につながっていくと感じました。 ・ 学力に評価をつけるのは難しいことです。そこにたどりつくまでの取り組み方や過程などが大切だと思います。結果も大事ですが粘り強く最後までやり通すことができる子どもたちに育ててほしいです。 ・ 学力が右肩上がりで伸びているとお聞きし学びの共同体の推進が実を結んだ結果だと思います。個別指導の工夫が課題であるが保護者と一緒に取り組みながらより良い方法をあみ出す工夫も必要です。
	2 豊かな心身	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが楽しみにしていた学校行事の規模が縮小し、異年齢の関わりや児童会活動など十分にできなかったのは仕方がないことだと思います。しかし「学校に毎日来れる」「先生や友達と会える」ことが一番大切なのではないのでしょうか。ずっと家庭で過ごしていた時より子どもたちの笑顔は増えています。特別なことがなくても何気ない日常を大切にしていきたいです。 ・ 豊かな心をもつことで気配りや思いやりのある子どもが育つのだと思います。お互いを尊敬し合えることができる子どもたちが増えたと感じとれます。 ・ これまで取り組んできた支持的風土を持った学級集団作りは、相手や自分自身を大切にする心の教育にもつながっていると感じます。自立心、忍耐力のある子どもの育成には家庭、地域と連携して信頼を築いてほしいです。

	3 特別活動	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸会は中止となってしまいましたが、学年ごとのミニ運動会や県内への修学旅行など学校としてできる工夫を精一杯実施されていたかと思います。次年度はどのような状況になる分かりませんが、この経験を次年度に活かしていただき、活動や行事の再検討が必要かと思います。 ・学校行事の中止や縮小のため、自主的な活動ができる場所や機会が少なく残念な年でしたが、子どもたちの明るく元気いっぱいの姿に安心しました。 ・学校行事や児童会活動など、子どもたちの自主性を重んじ、子どもたちが主役となれるよう工夫がされていました。
	4 生徒指導・教育相談	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より子どもや保護者が話しやすい環境作りをされており、個別での対応やスクールカウンセラー及びソーシャルワーカーの活用にも積極的です。また担任の先生だけでなく、学校全体で組織として対応していただいております。家庭との情報交換や連携も必要に応じて常時行っており、安心できる環境です。 ・気付いた時点で早期対応をしているので大きなトラブルにならないのだと思います。解決策や配慮の方も、きちんとされています。 ・いじめに発展しそうな事案については早急に取り組み前向きに行動しています。不登校への取組にご尽力いただき感謝いたします。子どもたちの変化や悩み事に目を向け適切なアドバイスを保護者も教員と一緒にお願いしたいです。

	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアを活用した教育活動はコロナ禍のため実施できなかったと思いますが、この状況での感染症対応やタブレットを使った授業、防火扉を通る訓練など、学校として新しく取り組めたこともありました。変化する状況の中での地道な教育活動も素晴らしいことだと感じました。 ・ある学年で「振り返り授業」を実施していました。自分が何を学んだのかを振り返る時間は、自分を見つめ直す大切な時。心の教育にも結び付いていくのではないのでしょうか。 ・地域ボランティアの活動が活発で、地域との連携や世代間交流も深まり良い関係ができています。「感謝の会」における地域の人々との交流は素晴らしいと思います。
課題教育	1 環境教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教室や廊下などきれいに整理されており、使いやすさを感じました。また日吉台スタンダードが徹底されており、個々の机の上には余計な物がなく、学習に集中できる環境が整っていました。 ・リサイクル活動など、積極的に取り組んでください。 ・全校での清掃実施や整理整頓が行き届いており、子どもたちは気持ちよく学校生活を送ることができています。
	2 特別支援教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級が3クラス設置されており、障害や個々の特性に応じた対応がなされていました。特別支援教育部の部員を学年一人に増やしたとのことで、学校全体で関わっていただいております。 ・一人一人への対応がきちんとされており、特性に応じた教育支援の継続と理解、啓発の推進を期待します。 ・発達障害や難聴児への対応が的確にされています。特別に配慮する児童に合った指導は保護者と共通理解しながら進めていくことだと思います。

	3 図書館教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動が制限される中、読書の楽しさを再認識し、本を読む子どもたちが増えているとのことです。担任以外の先生の読み聞かせの時間も楽しんだとのことでした。 ・読書をする子どもたちが増えたことは、素晴らしいです。読書貯金など楽しみながら続けていけるよう工夫した取り組みを今後もお願いします。 ・授業での積極的な図書室活動で、読書に親しむ子どもたちが非常に多く、読書する習慣が定着して素晴らしいです。図書室もよく整備されており、貸し出し冊数が増加する環境を作り上げたことに感謝します。
	4 健康教育	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を中心に毎日の検温や体調確認など、子どもたちや家庭への意識付けが十分に行われたと思います。昨年保護者アンケートで評価の低かった「ルルブル」や食育について、今年度は評価が高く、安心しました。 ・規則正しい生活は健康にも影響してくるため、生活習慣を保護者にも見つけ直してもらい、健康的な生活を親子で心掛けてほしいです。 ・「ルルブル」の大切さが浸透し、家庭を巻き込んだ啓発活動が功を奏しました。家庭での食生活の大切さが理解され保護者アンケートでは実現度がアップしました。今後も、健康管理には十分に目配りしていただきたいです。
	5 特色ある教育活動等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学び合いの学習の中で、相手の話に耳を傾けて自分の意見を出すことができる環境が整い、相手を思いやり自分を大切にする情操教育もなされていると感心しています。 ・計画通り実施できなかったことが多く、関わりが少なかったと思います。感染予防を考慮しながら行事の見直しをしていく必要があると思います。 ・学び合いのある授業が構築され、真正の学びのできる共同体ができている。子どもたち同士の結び付きが強くなり、自主的に活動しています。

<p>地域との連携について</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部講師の活用や地域との連携は縮小せざるを得ない状況だったかと思しますので、次年度に期待いたします。 ・ 町内会行事も中止でしたので、交流はほとんどできませんでした。どのように交流をしていくべきか検討事項はあると思いますが、子どもたちが地域の中で成長していつてることを考えながら、大切にしたい部分ですね。 ・ 児童が地域の一員としての自覚や周囲に役立っている実感を高めるために、地域と連携した活動を継続することで子どもたちが成長できることを願っています。世代間をつなぐネットワークの形成は今後も必要と思います。
<p>いじめ問題への取り組み</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめアンケートの実施や素早い対応ができる体制づくりなど、常に問題意識を持って対応していただいております。いじめ対応について保護者の評価が低いのが残念です。保護者懇談は実施できなかったのですが、お便り等で取り組みの発信を行っていただければと思います。 ・ 定期的にアンケートをとり未然防止に努めている。今後も早期発見に努め対応していただきたいです。 ・ 定期的なアンケート調査により、いじめなど友達関係の悩みにきちんと対応していると思います。家庭での子どもの変化に気付くことも保護者として大切なことで、学校と情報交換を密にする必要があると思います。